



グループ新名称及び新体制について

ニチメン・日商岩井ホールディングス株式会社

2004年2月10日

目次

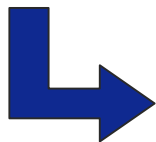
・	グループの経営ビジョン	P. 1
・	ニチメン・日商岩井グループの本日までの歩み	P. 2
・	グループの新名称	P. 3
・	ニチメンと日商岩井の合併について	P. 4 ~ 5
・	グループの新体制について	P. 6 ~ 9
・	グループシンボル	P. 10

グループの経営ビジョン

- ◆ 個々の中核事業領域において、収益性・成長性の向上を絶えず追求することにより、それぞれの業界・市場においてトップクラスの競争力と収益力を持つ「事業の複合体」を目指す
- ◆ 環境の変化や市場のグローバル化に対して素早く挑戦し、起業を通じ、常に新しい事業領域の開拓に努める「革新的な商社」を目指す
- ◆ 多様な顧客のニーズを掘り起こし、ビジネスパートナーとして深化したサービスを提供できる「機能型商社」を目指す
- ◆ 社員一人一人に自己実現に挑戦する機会を与える「開かれた事業体」を目指す

ニチメン・日商岩井グループの本日までの歩み

- ◆ 2003年4月1日にニチメンと日商岩井は経営統合を行い、持株会社 ニチメン・日商岩井ホールディングスを設立
- ◆ 当社グループは、本日まで「スピードと有言実行」をキーワードに、事業計画基本方針の『収益力の向上』、『財務体質の強化』に基づき、強力に諸施策を実施
- ◆ 一方、事業計画2年目以降も統合効果を最大限に発揮できる経営統合の最終形態をはじめとした新体制、並びにグループの新名称を様々な角度から検討



経営統合最終形態としてニチメンと日商岩井の合併を決定
本日より「双日グループ」として新たにスタート

グループの新名称

ニチメン・日商岩井グループの新名称は
「双日グループ」(英文名称: Sojitz Group)

◆ 「双日」の意味

- 「双」は、お客様や社会と当社グループとの固いパートナーシップを表します
- 「日」は太陽のようなエネルギーに満ちた企業グループを実現するという意志を表します

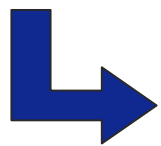
お客様や社会とともに成長し、輝かしい未来を実現していこうという熱い思いが込められています

◆ 新名称の使用開始時期

- グループの新名称は本日(2004年2月10日)より使用開始
- ニチメン・日商岩井ホールディングスの名称「双日ホールディングス」
(英文名称: Sojitz Holdings Corporation)
2004年6月開催予定の定時株主総会にて承認後、2004年7月1日に変更予定
- グループ傘下各社の名称(商号)変更については、本日(2004年2月10日)以降、
順次行っていく予定

ニチメンと日商岩井の合併について (合併の目的)

- ◆ ニチメン株式会社と日商岩井株式会社は、統合効果の極大化を目指し、相互対等の精神に基づき合併
- ◆ 持株会社傘下のもと、中核事業会社2社を合併することで
 - 組織結束力を強め、事業シナジーを追求し、収益力を強化・拡大
 - 更なる事業再編への柔軟性を確保し、合理化と効率経営を追求



革新的な機能型商社を目指し、

事業計画達成に向けて一層邁進

ニチメンと日商岩井の合併について (合併の内容)

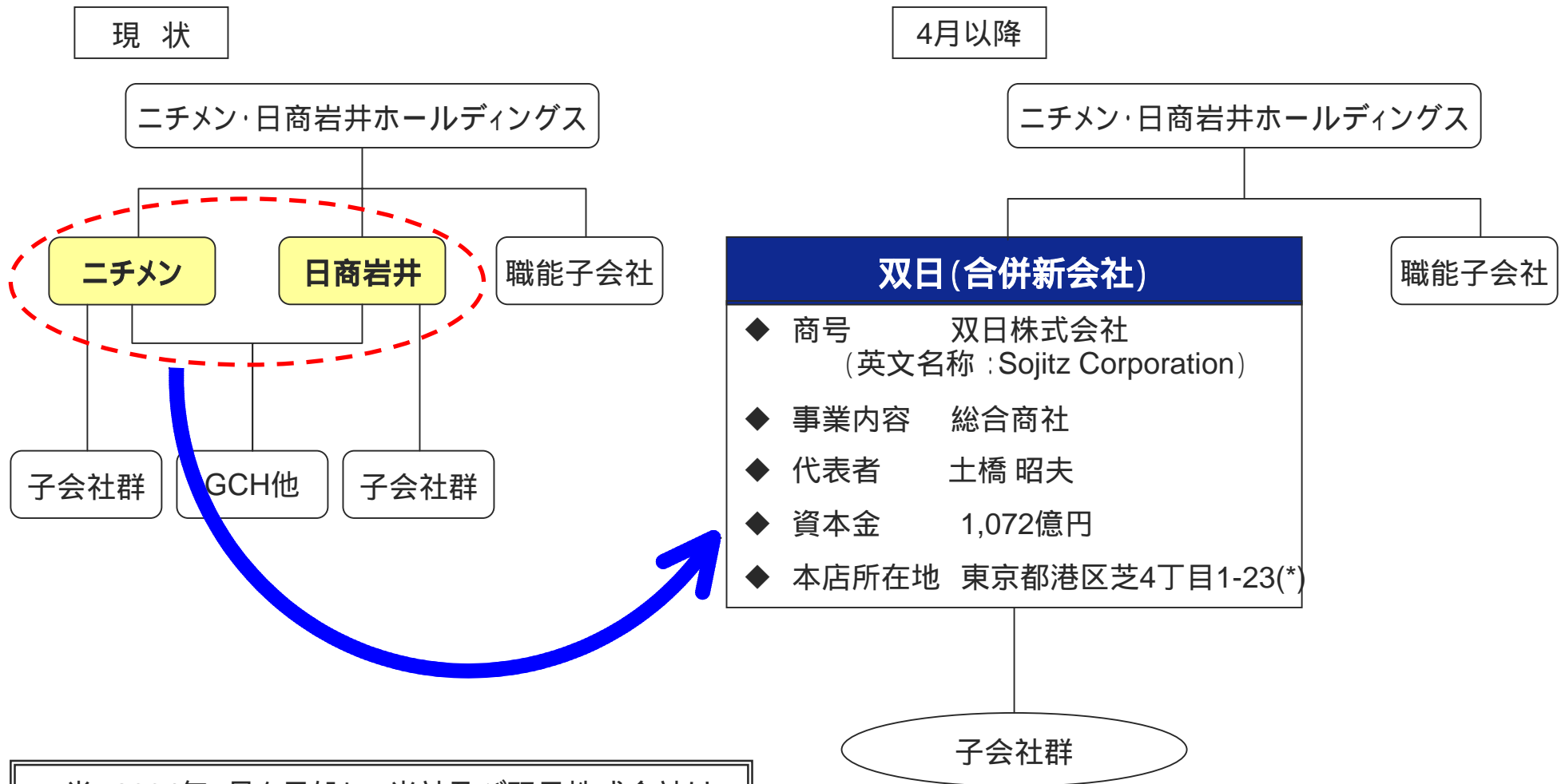
- ◆ 合併期日
 - 2004年4月1日

- ◆ 合併の日程
 - 2004年2月10日 当社及び両社取締役会にて合併契約書承認
 - 2004年2月10日 合併契約書締結
 - 2004年2月26日 両社株主総会にて合併契約書承認(予定)
 - 2004年4月 1日 合併期日(予定)
 - 2004年4月上旬 合併登記(予定)

- ◆ 合併方式
 - 法手続き上、ニチメン株式会社を存続会社と致します

- ◆ 合併比率等
 - 当社の100%子会社2社の合併であることより、合併比率の取り決めはありません。また、新株式の発行及び合併交付金の支払いは行いません

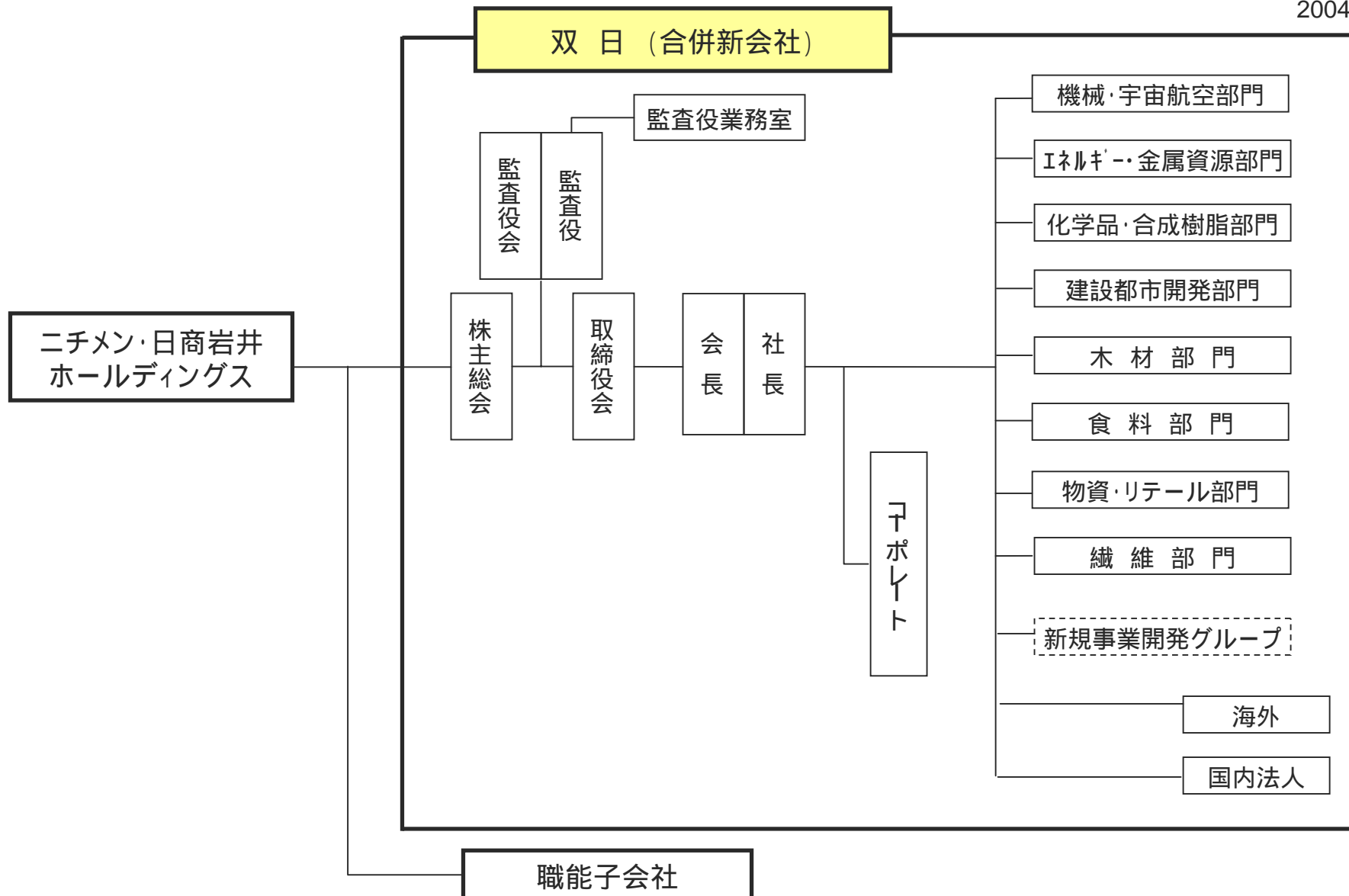
グループの新体制について



(*)尚、2004年7月を目処に、当社及び双日株式会社は
本社オフィスを「国際新赤坂ビル」に移転し統合する予定

グループの新体制について (合併新会社の組織体制)

2004年4月1日時点



グループの新体制について (グループの運営方針)

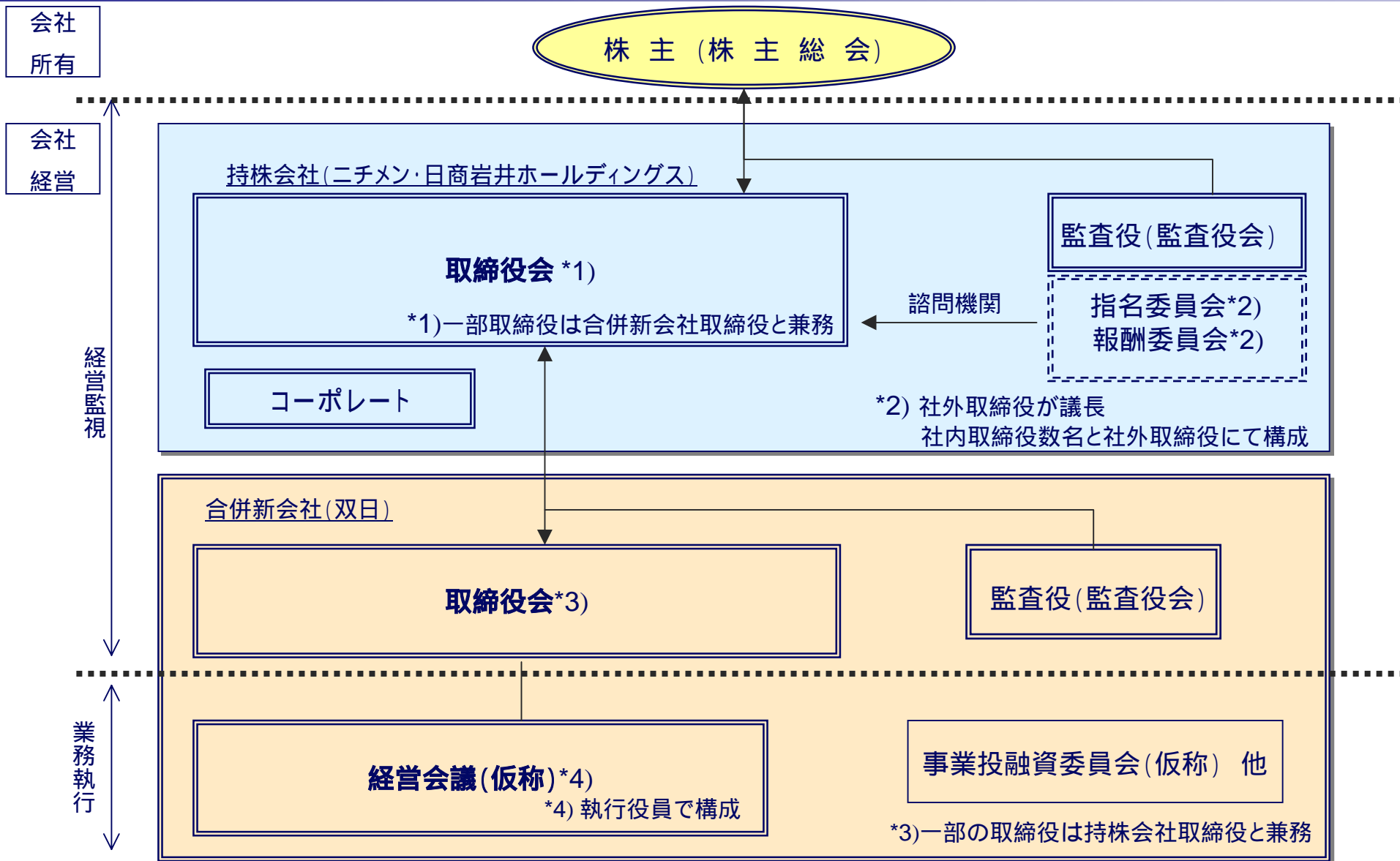
◆ 持株会社「ニチメン・日商岩井ホールディングス」の機能

- 上場企業として、株主はじめステークホルダーに対する経営責任と説明責任を負う。また、グループ経営に関わる最重要事項を決定し、業務執行の管理・監督を行う。今後、経営の透明性とガバナンス体制を更に強化するために、社外取締役を招聘するとともに、社外取締役を議長とする指名委員会・報酬委員会を設置する予定。
- 取締役会はグループ内の最高意思決定機関であり、グループ経営に関わる最重要案件の審議・決裁を行う。決裁手続きと業務の重複を避け、効率化・スピードアップのために、合併新会社に大幅に権限を委譲。この権限の委譲に伴い、これまで持株会社に設置していた経営会議を廃止。

◆ 合併新会社「双日」の機能

- グループの中核事業会社として営業活動と関係会社の管理・監督を行う。
- 持株会社からの権限委譲を受け、持株会社取締役会に上程される重要案件以外の案件すべてを審議・決裁。
- かかる役割を具備するために以下の主要会議を設置。
 - 「取締役会」 : 合併新会社の最高意思決定機関
 - 「経営会議(仮称)」 : 審議及び意思決定機関
- 上記主要会議をサポートするために事業投融资委員会(仮称)など各種委員会を設置し各案件の審議を行う予定。

グループの新体制について (ガバナンス体制)



グループシンボル

グループシンボルは当社グループの経営ビジョンに則り、下記のように決めました



意味

お客様とともにグローバルで先進的なビジネスを展開し、社会とともに成長するという意味を込めました

形

- ・地球の稜線からダイナミックに飛翔する2本の矢「グローバルアローズ」がデザインのモチーフ
- ・「双日」の「双」の字を表します

色

- ・グループカラーは「Sojitzブルー」
- ・お客様と社会からの信頼、スピーディーな対応と先進性、グローバルな活動を表します

将来見通しに関する注意事項

資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の計画数値、施策などに関する記載については、不確実な要素を含んだものとご理解下さい。